



連合教職大学院生通信

発行元：大阪市教育委員会事務局総務部教育政策課
大阪市教育センター教育振興担当

令和5年度
Vol.1

教職大学院で一緒に学びませんか？

ブログ掲載版

大阪市教育委員会は、平成30年に大阪教育大学と包括連携協定を結び、教員の指導力の向上や教育課題を解決するための研究などに連携して取り組んでいます。

連協教職大学院（以下、大学院）は、山積する教育課題の解決に向けて、それらの課題に対応する力、チームで協働する力、知識や経験を有機的に結びつける力など、教員として必要な資質・能力を身に付けることを目的としています。ここには、ともに学び合える仲間との出会いがあり、課題意識をもって学べる楽しさがあります。この有意義な学びを通して、明日の教育を一緒につくっていきませんか？

それぞれの学びが始まります



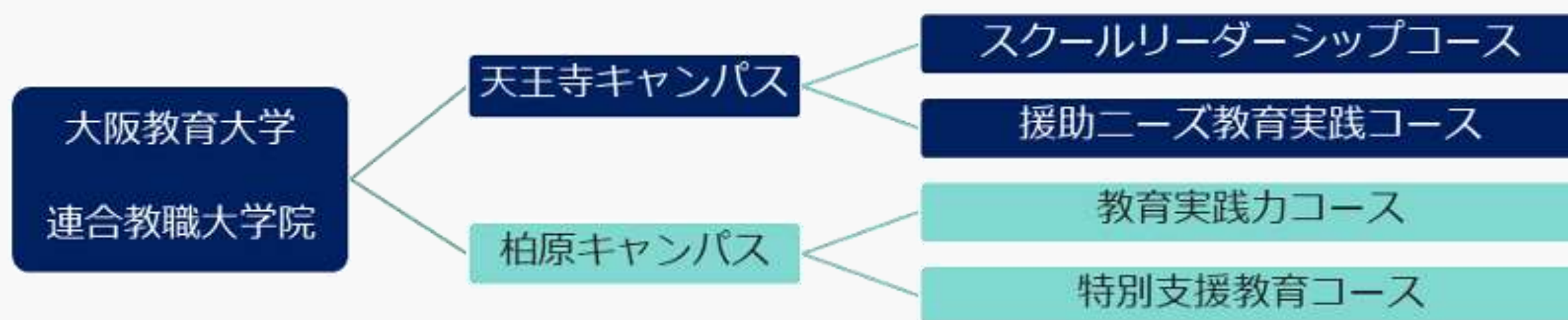
援助ニーズ教育実践コース2回生(M2)の様子

4月5日、大阪教育大学の全新入生が4年ぶりに一堂に会し、令和5年度入学式が行われました。4月8日には、オリエンテーションとガイダンスが行われ、大学院の教員紹介やこれから始まる大学院の生活について説明がありました。

2回生は、4月7日にガイダンスが行われました。実践課題研究報告書をまとめていくにあたり、今後の実践研究の進め方や報告書の書式について説明がありました。また、研究の大詰めとなる発展課題実習と実践課題研究を始めるにあたり、自身の研究テーマや教員育成指標に基づく教職力量の省察を行い、さらにグループで交流を行いました。

コースの紹介

大学院には、様々な教育課題に対して、解決できる高い専門性をもった教員を養成することをねらいとした4つのコースが設置されています。スクールリーダーシップコース・援助ニーズ教育実践コースに通う院生は天王寺キャンパスで学修します。



※上記の図は令和5年度のコース紹介になりますが、令和6年度より、教育実践力コースと特別支援教育コースについても、天王寺キャンパスで学ぶことができるようになります。詳細につきましては、今後、ご紹介します。

養成する人材像

コース	養成する人材像
スクールリーダーシップコース	<ul style="list-style-type: none">●保護者、地域住民等と協働し、学校及び地域の新しい教育課題の解決に向けてリーダーシップを発揮できる教員●教員集団をリードし、学校経営における中心的役割を担うことのできる教員
援助ニーズ教育実践コース	<ul style="list-style-type: none">●多様な援助ニーズに対応するための高度な教育的手法を身に付けた教員●「チーム学校」の考えに基づき、学校園内・外の関係者と協働して教育実践を展開できる教員
教育実践力コース	<ul style="list-style-type: none">●児童・生徒に即した、実践的で高度な学習指導、学習評価を行える能力を身に付けた教員●教員としてのカリキュラム・マネジメントや、教科横断的な視野を持った教科領域の指導、今日的な教育課題に対応した授業開発に、先端的かつ継続的に取り組むことのできる教員
特別支援教育コース	<ul style="list-style-type: none">●特別な支援を必要とする子ども一人ひとりのニーズに対応した適切な教育支援を行える高度な能力を身に付けた教員●特別支援教育コーディネーターとしての役割を担うことのできる教員

大学院の授業について

今年度入学したスクールリーダーシップコースと援助ニーズ教育実践コースの院生の時間割をご紹介します。時間割にはありませんが、大学院の指導教員によるゼミも定期的に行われます。

★スクールリーダーシップコース(MI)前期の時間割例

※_は必修科目

時限	月	火	水	木	金
1時限		インクルーシブ教育の理論と実践(オンデマンド)			
2時限					
6時限(18:00-19:30)		子どもの貧困及び児童虐待の理解と教育実践			
7時限(19:40-21:10)	教育課程編成の今日的課題	生徒指導と教育相談の実践的課題	学校経営と学級経営の理論	スクールリーダーシップの理論と実践	

※午前中に柏原キャンパスで対面で開講されますが、天王寺キャンパス向けにもオンデマンドにて開講されています。

★援助ニーズ教育実践コース(MI)前期の時間割例

時限	月	火	水	木	金
6時限(18:00-19:30)		子どもの貧困及び児童虐待の理解と教育実践	児童生徒の発達と子どもの援助ニーズ		
7時限(19:40-21:10)	教育課程編成の今日的課題	生徒指導と教育相談の実践的課題	学校経営と学級経営の理論	援助の理論と協働的援助	

大学院の研究について

大学院では自身の研究を実践課題研究報告書としてまとめます。大学院の指導教員や実習校の指導責任者と相談をして決定したテーマにしたがって研究を進めていきます。テーマによって研究の進め方はさまざまです。今回は筆者の1回生での取組についてご紹介します。

★前期:4月~8月のRM(リフレクションミーティング)まで

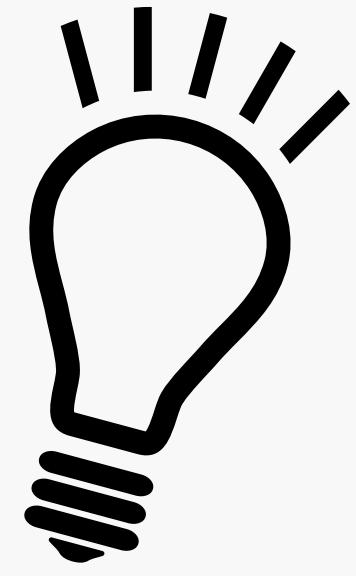
大学院の主指導教員と副指導教員にご指導いただきながら、これから進めていく研究の計画や内容を考えました。「どのような目的でその研究を行うか」ということを自分の言葉で語れるようにすることが大切だと感じました。実習校の指導責任者の先生や同僚等、さまざまな方からご助言をいただいたことで、考えが大きく広がったように思います。また、自分が進めていく研究領域の先行文献を読み、現状を調べたうえで、今後行うべきことは何かということや、研究に向けての予備調査(ヒアリングやアンケート等)を実施しました。

★後期:8月のRM終了後~2月のRMまで

前期に立てた計画を見直しながら、実地調査(ヒアリングやアンケート、研修の参観等)も進めていきました。修了に向けて書きあげる実践課題研究報告書で、どのように自分の研究を表現するかを意識しながら現在の研究の進め方が適切かどうかを考えます。ここでも、大学院の主指導教員・副指導教員、実習校指導教員や同じゼミの仲間とたくさんの議論を行いながら進められたことが安心につながりました。

※RM(リフレクションミーティング)とは、学校実習での取り組みを振り返る機会や、他者にわかりやすく成果や課題を発信する場を意味します。ここではコースによる企画・運営で行われるコースRMのことを指し、院生や大学院の関係教員、場合によって教育委員会からの参観者と交流します。

大学院についてのQ&A



<Q1>

大学院に行く場合、校務分掌や担当学年などのこともあるので、事前に管理職に伝えておいたほうがいいですか？

教員一人ひとりのキャリアプランについて管理職が把握することは、教員がいつ、どのような場面で活躍していけるのかを考えるために必要なことだと思います。ぜひ進学を考えていることを管理職にご相談ください。

<Q2>

担任をしながら、大学院に通うことは可能でしょうか？

院生の中には担任をしているという方もいます。所属校から天王寺キャンパスまでの距離、学校や学年、学級の状況によるのかもしれませんが、また、担任という立場だからこそ成し得る研究もあります。受験を考えている方は、まずは管理職に相談してください。

<Q3>

18時からの授業に間に合うか心配です。大学院では18時からの授業がたくさんありますか？

1回生(M1)の時は週に2回ほど6時限(18時～)に授業が入っています。ですが働いていると、やむを得ない事情で遅刻したり欠席したりすることはあります。

その場合には、代替の課題や録画した授業を見て課題を提出するなどの対応を準備してくださっている先生が多いです。

<Q4>

大学院の日々の課題がこなせるか心配です。どのような工夫をしていますか？

大学院のポータルサイトにはダッシュボードという機能があり、そこで確認しながら、計画的に取り組んでいます。時間を見つけて少しずつ課題に取り組む人や振返りのレポートなどは授業後にすぐ書いて提出する人、平日は行わず週末にまとめて課題に取り組む人もいます。課題に取り組む時間やペースについては、いろいろ試してみて、自分に合うやり方を見つけることが一番です。そうすることで、無理なく課題を提出することができると思います。

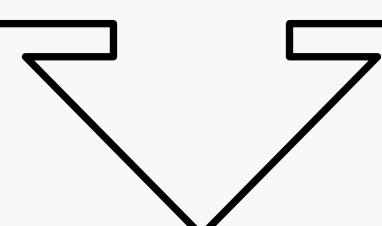
<Q5>

実習校は自分が働いている学校でいいのでしょうか？別の学校に割り振られることがありますか？

勤務先が実習校になります。実習の際には大学院の主旨導教員が授業を見に来られることがあります。主旨導教員による実習校訪問当日は、子どもたちが「先生の先生が来た！」と興味津々な様子だったという話を聞きます。

<Q6>

忙しい中で夕食はどうしていますか？次のページをご覧ください。



天王寺キャンパスの一部紹介

食堂



営業時間
月～土 9:00—22:00
日・祝日 10:00—16:00
※変更がある日があります

東館



図書館

開館時間
月～金 10:00—21:30
土 13:00—21:30
(日・祝日は閉館)
※2023/4/17現在



学生協



食堂の隣に、生協(購買・書籍)があります。

読書や自習ができるスペースも十分にあります。自身の研究に必要な論文や参考文献の閲覧・取り寄せが可能です。

中央館



院生協働学習室



院生用ロッカー



履修のことや学校実習のことなどについて、質問や相談をさせていただきます。他にも何かわからないことがあれば、院生窓口に行きますね。本当に頼りになるお二人です。

西館

大学院生用窓口
沼田さんと一橋さん

大阪教育大学天王寺キャンパスの東側に食堂があります。昼間は附属校の生徒さんも利用していて、大盛況ですが、夜は待つことなく食事をとることが可能です。授業が6時限目からのときは、教室で軽食を済ませる人や家に帰ってから食べる人が多いです。授業が7時限目からの時には、食堂に行く院生もいます。リーズナブルな値段で栄養のある食事がとれるので、ありがたいですね。



令和6年度 入試日程



<1次募集>

出願期間 令和5年7月24日(月)

～8月7日(月)

入試実施日 令和5年9月2日(土)

<2次募集>

出願期間 令和5年10月30日(月)

～11月13日(月)

入試実施日 令和5年12月10日(日)

<3次募集>

出願期間 令和5年12月25日(月)

～令和6年1月11日(木)

入試実施日 令和6年2月11日(日)

※定員の充足状況によって4次募集を実施する場合があります。

大阪教育大学大学院説明会(連合教職実践研究科)

日時 令和5年7月2日(日) 10時開始予定

- ・連合教職大学院の概要の説明
 - ・コース別の説明
 - ・学生による学生生活・入試対策について
- ※オンライン(ZOOM)で開催

申込フォーム



編集後記

新学期がスタートして早2か月が経とうとしています。5月8日に、新型コロナの感染症法上の位置づけが、季節性インフルエンザなどと同じ5類に移行することが正式に決まりました。3年以上続いた新型コロナウイルスへの対応は新しいステージに入ることになります。すでに街は観光客も増え、以前のような活気に満ち溢れています。

一方で、マスク着用に象徴されるこの3年余りの時間が、発達段階にある子どもたちにどのような影響を及ぼしているのかまだよくわからない部分もあります。「コロナ禍」に乳児期を過ごした子どもたちが中学校を卒業するのが最長で15年後、この間、私たち教員は「コロナ禍」のことを心に留めておく必要があるのかもしれません。

このような予測困難な時代を生きる教員として、大学院での学びは支えにもなると思います。時代が大きく変化していく中で、取り残されている子どもたちがいないか、どんな支援が必要なのか、学校園のカリキュラム・マネジメントをどのように行っていくのかなど、ミクロからマクロの視点に及ぶさまざまな理論や知見を学ぶことができます。理論や知見というと堅苦しい感じがありますが、具体的な支援やカリキュラム編成などを考えていく中で、迷った時の道しるべになるのが大学院での学びではないかと感じています。